

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		音楽療育どれみ		公表日 2026年4月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	活動に合わせて、部屋のスペースの使い分けをしています。	集団は活動によって狭い印象がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	その日の利用定員に合わせて配置を決めている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	常に環境整備を行っています。	ラインなどのマーカーを付けて、子ども達に分かりやすくしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	落ち着いて過ごせるように心がけています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	使用出来る環境になっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	職員間で療育について話し合っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員間で会議を開き、業務改善に繋げていく話し合いを行っています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎日のミーティングにより、職員からの意見を発表してもらい改善に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		第三者評価を行ってない為、行った際は改善に努めます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	可能な限り研修に参加して、質の向上に努めています。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ホームページやSMS等で支援プログラムを公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	アセスメントやモニタリングを行い、保護者のニーズを参考に計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員間でその都度個々の支援について情報共有をして療育に努めています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	計画を作成した際は、支援会議を行い支援の共有を図っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	アセスメントを使用する事で変更になった点はその都度変更して確認している。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	それぞれの項目に合わせた支援計画を立て、支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員間で話し合っ活動プログラムを作成しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	固定化しないように季節観を取り入れた活動を考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別活動と集団活動を取り入れた計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	毎日支援内容をミーティング後に設定して打ち合わせしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	その日に振り返りを行うようにしていますが、場合によっては、次の日のミーティングの際に振り返りの打ち合わせをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		記録をとることを怠っている。記録をとりのこしていくように心がける。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		定期的ではなく、支援計画更新の時にモニタリングを行っている。今後は定期的に見直しをしています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	担当者会議に参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	関係機関と連携をとり、支援体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		保護者を通して、情報共有していくように努めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4		事業所の様子や支援内容の情報共有の連絡が取れるように努めていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4	発達支援センターと連携を取り、助言を頂いています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		現在交流の機会を設けていません。交流の機会があれば参加していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	LINEや連絡帳を通して、支援の様子等を伝えていきます。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		家族支援に関する研修を受けていますが、情報提供が曖昧になっています。情報提供をしっかりと行っていきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	変更があった際は、その都度丁寧に説明するように心がけています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	モニタリングを行い、保護者の意思を尊重して計画に考慮しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	支援計画の際には保護者に内容を説明した上同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者からの相談や悩みは、その都度時間を設定して面談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4		保護者会などは設けていません。音楽界を通して保護者との交流を図るように心がけています。今後は要望がありましたら支援していこうと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	苦情があった際は、職員会議を開催して迅速に対応するように心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	HP,SNSなどで活動の様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報について鍵付きの書庫を利用して、取り扱いに十分配慮しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	必要に応じて、保護者からの相談には個別に対応しています。保護者の話を丁寧に聞くことを心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	地域活動の一環として、イベントに参加する等地域交流を図っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	それぞれのマニュアルを作成し、職員間で周知し、マニュアルを基に訓練を実施しています。	保護者様に周知していませんが、マニュアルを作成している旨は伝えてあります。ブログ等で避難訓練の様子を伝えてあります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	3	業務継続計画を基に定期的に避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	事前に服薬やてんかん発作等がある場合は、保護者にお知らせして頂くようお願いしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		現在、医師の指示書を提出されている利用者はいません。提出された際は対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成しています。	研修や訓練を怠っているため、今後は研修や訓練を行っていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全計画を作成し、職員間で組織の内容を周知しています。	保護者などへ周知していないため、今後はHPやSNS等で知らせていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットがあった際は、その都度職員間で共有して対策を考えています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待研修に参加したり、事業所内研修にて虐待研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2	マニュアルを作成し組織化して、対応等について計画に記載しています。		